

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員と希望者全員の正社員化を。

ぬいぞが、均等待遇、なぐつて差別！ユニオンは労基法裁判に勝利するまで！

九州地本 第8回定期大会

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙 「みらい」
NO. 3987
19年9月3日(火)
Tel/Fax 095-828-1953



最初に米地委員長の挨拶がありました。

9月1日、郵政産業労働者ユニオン、九州地方本部は福岡県労連の会議室において第8回定期大会を開催しました。

長引く秋雨前線の停滞で、佐賀や佐世保地区など大雨の被害を受けた方々にお見舞い申し上げます。現場でも危険を感じたら無理をせず、「自分の命は自分で守る。」という言葉を頭において、業務に当たって下さい。

おはようございます。

- ・ 時間前着手する社員がいて、8時には大区分が終わっている。他の社員への悪い影響が出ている。
- ・ 業務に追われて昼休みは、食事5分休憩5分の計10分しか取れない。

その後、九州各地から参加した方の職場の状況報告がありました。

「郵政の職場では全ての職場で要員不足が深刻な問題となっており、要員不足解消の手立ても業務量調整も行わずに超勤規制を行うことで、タダ働きを生む原因となっている。労働者は余裕を失い、ついていけない者は置き去りとなり、こうした職場環境の悪化は、職場人間関係の悪化も促し歪な人間関係となっている。それに加え、同じ職場で働く労働者間の格差は、パワハラ、いじめ等を生む要因となっており、職場における精神疾患の増加に加え、退職を決定する労働者も少なくない」と述べました。

「辞めて行く者が多く補充も十分でない為、課長が区に入って配っているが、その後には課長業務も行なうためついには身体を壊してしまつた。」

「冒頭書いた「自分の命は自分で守る。」これは何も災害時においてだけでなく、毎日一番多くの時間を過ごす職場においてでも同様であり、交通事故や精神疾患や健康障害は生命を脅かす原因にもなりかねない。定年まで安心して働ける職場環境を望みます。」

長崎においても、4月に、「新しい風を吹かす」との大義名分で集配部長が行った大規模な移動。大方の予想通り、人員不足の中、班内で複数人が同時に通区する状態。当たり前だが増える超勤時間。誤配等の増加は決して無関係とはいえないと思う。それを個人の問題として責める上司。これが新しい風なのか？

多くの報告や論議で盛り上がった大会は、執行委員の選出により新たな執行体制となりました。

その後の懇親会でも勢いは止まらず、終始笑顔の絶えない楽しい時間を過ごしました。

多くの報告や論議で盛り上がった大会は、執行委員の選出により新たな執行体制となりました。

その後の懇親会でも勢いは止まらず、終始笑顔の絶えない楽しい時間を過ごしました。



多くの報告や論議で盛り上がった大会は、執行委員の選出により新たな執行体制となりました。

その後の懇親会でも勢いは止まらず、終始笑顔の絶えない楽しい時間を過ごしました。

その後の懇親会でも勢いは止まらず、終始笑顔の絶えない楽しい時間を過ごしました。

役職	氏名	所属支店・局	担当
執行委員長	米地 輝高	日本郵便福岡中央郵便局	窓口(副)・交渉・苦情処理
副執行委員長	原田 芳博	日本郵便長崎中央郵便局	組織・会計・苦情処理(補欠)
書記長	田尻 哲一	日本郵便福岡中央郵便局	企画・交渉・窓口(正)・苦情処理
執行委員	松野 浩	日本郵便北九州中央郵便局	交渉・苦情処理
	後藤 靖幸	ゆうちょ銀行福岡貯金事務センター	組織・教宣(福岡)・苦情処理(補欠)
	前田 節二	日本郵便長崎中央郵便局	交渉・教宣(長崎)苦情処理(補欠)
	谷瀬 順治	日本郵便恵良郵便局	組織・教宣(大分)
会計監査	山内みどり	日本郵便長崎中央郵便局	監査



期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。
1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, ゆうちよ銀-上筋,